地域貢献活動支援報告書

社会連携研究センター長 殿

所 属 教育学部・教授 氏 名 姉崎 弘

	一类中,以其中中中大人工。
活動テーマ	三重県における障害児者のための
	スヌーズレンの理解啓発と実践の推進
実施期間	平成 23 年 4 月 30 日 ~ 平成 23 年 9 月 2 日
	8 月 27 日(土)に、三重県総合文化センターの中研修室において、三重
	県における障害児者のための余暇活動や教育、セラピーとしてのスヌー
	ズレンの正しい理解啓発を図るとともに、その実践の推進を目的として、
	スヌーズレンの講演会を開催した。
	参加者数は 35 名であった。内訳は、特別支援学校教員、作業療法士、
	保育士、医師、介護福祉士、福祉施設職員、アロマセラピストであった。
	中には、愛知県からの参加者も数名あり、大変盛況であった。
	講演会の講師は、以下の2名が担当した。
	①姉崎 弘(三重大学教育学部教授)
	演題『スヌーズレンの基礎理解について』
	②濱田 匠(三重県立草の実リハビリテーションセンター・作業療法士)
	演題『作業療法士から見たセラピーとしてのスヌーズレンの側面』
てもよウ	
活動内容	参加者のアンケート回答を見ると、以下の内容が多く見られた。
	「スヌーズレンが教育的に効果があることがわかり、自分の学校にも取
	り入れていきたいと思います。」
	「スヌーズレンが余暇活動だけではなく、教育やセラピーとしての側面
	を持つことがわかり、今後医療の作業療法の中にも取り入れていきた
	いと思います。」
	「自分の知的障害者施設でもスヌーズレンの実践を行っていますが、そ
	の理論的な根拠がわかりました。大変勉強になりました。」
	「次回以降も、ぜひこの研修会に参加したいと思います。」
	スヌーズレンについては、今後医療、教育、福祉の分野等で注目され スヌーズレンについては、今後医療、教育、福祉の分野等で注目され
	る新しい取組みであり、今後も、このスヌーズレン講演会を継続的に実
	施することで、広く県民に対して,y
	その理解啓発を図っていきたいと思う。
1	1